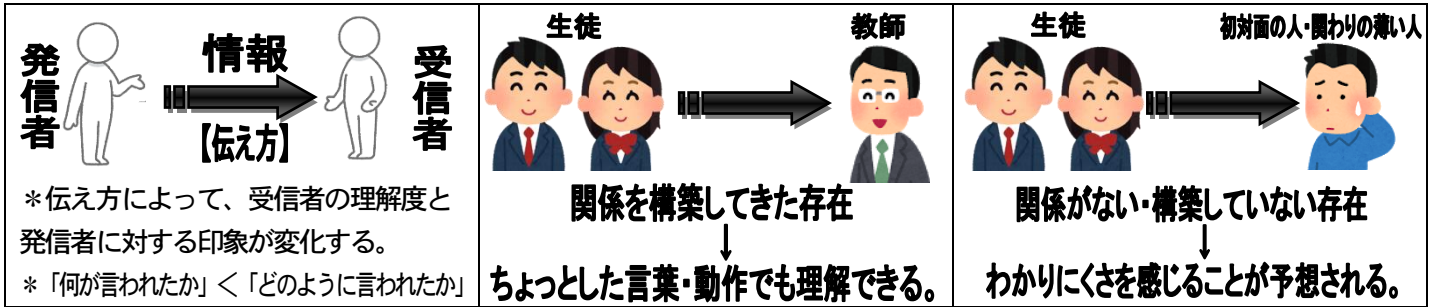


# コミュニケーション能力の育成を目指した生活単元学習 ～地域素材を生かした一実践～

十日町市立ふれあいの丘支援学校  
保坂 裕香・廣田 稔

## 1 はじめに



生徒はやがて学校を卒業し、地域社会で生活する。

社会の中で生きていくのに適切な 社会的行動を身に付けていることが重要

**伝え方の学習が必要**  
(ソーシャルスキルトレーニング)

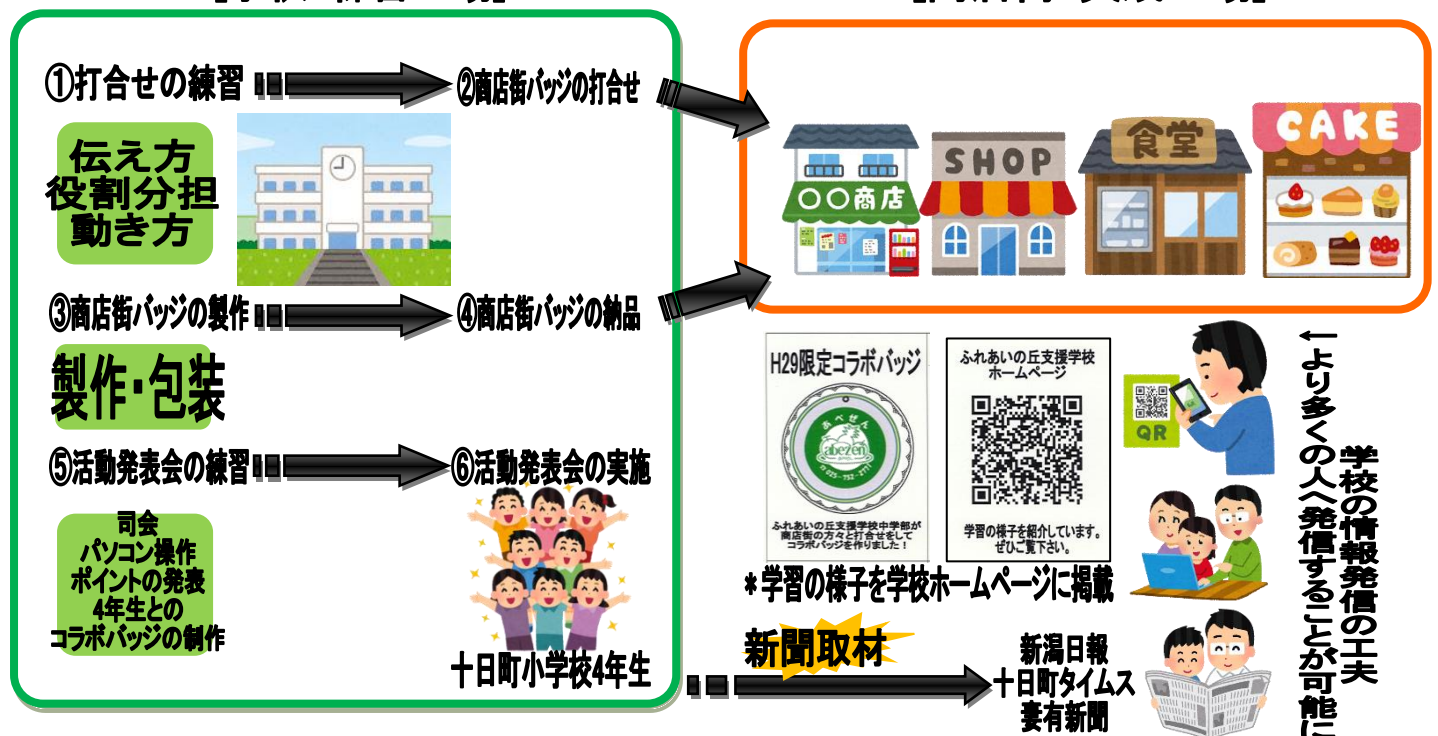
## 2 実践—地域生活学習—

### ○伝え方のポイント

- |                    |               |             |
|--------------------|---------------|-------------|
| ①目を見て、話す・聞く        | ②へそを相手に向ける    | ③背筋をまっすぐ伸ばす |
| ④口の開け方・声の大きさに気を付ける | ⑤聞き終わったら、うなづく |             |
| ⑥返事をするときには、「はい」と言う | ⑦両手で物を渡す      |             |

### [学校=練習の場]

### [商店街=実践の場]



## 3 成果と課題

- 打合わせの練習や発表練習を重ねていく中で、姿勢や発声を意識して適切な話し方の定着が図られた。
  - 活動発表会では生徒が受け身ではなく、自分から他者に関わっていくきっかけになった。
  - 地域の方々の協力によって授業を行うことができた。
- △今年度の生徒は、発語ができ、文字を理解することができる生徒ばかりであった。しかし、生徒の実態は様々で、来年度入学する生徒によっては、学習の内容や方法を変更することが必要である。
- 生徒の実態に即し、適切な目標設定・手立て・評価をしていくことが今後も大切である。